

遊覧船としては日本初の電気推進船 2015年4月1日(水)就航
九十九島海賊遊覧船「みらい」建造中！

させぼパール・シー株式会社（佐世保市鹿子前町1055番地／代表取締役 中島正美）では、2015年4月1日の就航に向け九十九島海賊遊覧船「みらい」を佐世保市内の造船所で建造しており、このほど進水式を行いました。現在、外観がほぼ完成しており、今後は内装の艤装工事を行います。

新游覧船導入計画は、2012年より検討を開始。九十九島の美しい島々と海風にふさわしい船、また多くの観光客にアピールできる独創的な船を目標に、市内の船舶設計業者（SEA創研）の支援を受けながら、デザイン面では神戸芸工大プロダクトデザイン科の協力を得て新船の検討を行いました。

■新船建造に向けた基本的なコンセプト

1. 安全性（操作性、旋回性、安定性に優れ、風や波に強い）
2. 快適性（振動、傾き、騒音、バリアフリー、船員の作業性・居住性）
3. 省エネルギー、環境対応性（自然エネルギー採用⇒太陽光パネル、風力発電装置搭載 船室の電気）
4. 漁協との共生（養殖いかだ作業への波の影響を最小化）
5. 九十九島の海域にふさわしい気品と楽しさを併せ持つデザイン

■新船の特徴

1. 遊覧船としては日本で初めての発電機で推進装置を動かす電気推進船
※電気推進船の主な特徴→低騒音、低振動
2. 360度回転する電気モーター駆動ポッド型可変ピッチ推進器装備
九十九島海域の遊覧船コースは、島々の間の複雑な地形を海流や潮汐に合わせて運航する難コース。そのため、高い操船性が得られるポッド式を採用。200t以下の船での採用実績は高価であるため少ない。
3. 外観は海賊帽子をイメージした曲線を多用した海賊船。船内は楽しみながら海や船に関して学ぶことのできる仕掛けを設置。
4. バリアフリー対応（エレベータ装備）
5. バウスタスター装備

■今後の主なスケジュール（予定）

ポッド推進器起動	:	10月10日（金）
試走	:	10月18日（土）
出渠	:	11月12日（水）
海上予行運転	:	11月13日（木）
海上公試運転	:	11月17日（月）
引渡し	:	11月29日（土）
習熟訓練	:	平成27年 1月～3月
内覧会及び就航式	:	3月27日（火）
就航	:	4月1日（水）※西海国立公園60周年の年

■主要目

- 総トン数／約170t（パールクイーン199t、海王138t）
- 定員／200名
- 全長／約34m
- 全幅／7.6m
- 深さ／3.2m
- 設備／エレベーター・カフェコーナー、多目的トイレ（バリアフリー対応）